

シラバス入稿 / Syllabus Editing

編集 / Edit Page

Now logged in: 松本 克美

入稿内容を確認し、問題がなければ画面下部の「入稿確定」ボタンを押してください。

内容を修正する場合は画面下部の「編集画面へ戻る」ボタンを押してください。

Confirm the content and, if there is no error, click the "Submit" button at the bottom of the screen.

To modify the content, click "Return to edit page" button at the bottom of the screen.

[編集画面へ戻る / Return to edit page](#)

授業コード・科目名・クラス Course code / Course title / Class	開講期間 Term	曜日・時限 Day of the week, Period	単位数 Credit	担当者名 Instructor
72580:民法演習I (23)	前期	前期 水 (- -)時 限	2	松本 克美
72580: Seminar in Civil Law I (23)	Spring	Spring WED - (- -)Period		MATSUMOTO KATSUMI

授業の概要と方法 / Course Outline and Method

※事務室で予め記載を行っている場合は、その次段からご記入ください。

※Fill in the next section if you have already entered information at the administrative office of your College.

民法総則、物権、親族の重要テーマについて、設例、最高裁判例を用いて、基礎知識を深め、応用力を身につける演習形式の科目である。

予習課題について十分な予習がされてきたことを前提に、適宜、質疑をしながら、双方向的に進める。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

※原則として、変更できません。

※In principle, the information entered cannot be changed once submitted.

民法演習Iで最低限修得すべき内容は、次の通りある。

法曹にとって、財産取引や家族にかかわる法律関係の基本を規定する民法の法的知識を確実に修得し、その知識を活用して事案の法的解決を図る能力は必要不可欠な能力である。本科目では、未修1年次の民法講義科目で修得した民法全体にかかわる基本的な法的知識を前提に、民法の総則、物権、親族の分野の重要問題を中心に、法的知識の確実な修得とその運用能力の養成を図る。また、単なる知識の修得にとどまらず、事例問題を通じて事実からの法的問題の発見能力、事案への法的適用能力、結果の妥当性を検証する能力なども養う。双方向的・多方向的授業を通じて、法的思考力、説得力や表現力も養う。

民法演習I、IIを通じて、とりあげられることのできる民法に関連するテーマは限られているが、民法全体の法的知識はすでに未修1年次に修得していることから、演習での獲得目標は知識の修得自体よりも、法的知識を基礎にした法の運用力を養うことに重点を置く。演習の中で自分にとって不確かな法的知識がある場合には、教科書等でその点を補充しておく必要がある。

なお、各回で取り扱うテーマの「最低限修得すべき内容」はLETに掲げておく。なお法科大学院協会が2010年9月に公表した「共通的な到達目標モデル（第二次案修正案）・民法」（末尾の参考wwwアドレス参照）は、法科大学院修了生に要求されるべきミニマム・スタンダード（最低限の水準）と考えられるものである。従って、授業で取り上げていない項目についても自学自習をして、要求される水準をわがものとしておく必要がある。ただ共通到達目標モデルは、あくまでミニマム・スタンダードであるから、法曹になるために要求される法的知識等は、共通到達目標がかかげる事

項に限られるわけではない。

立命館大学法科大学院の民法関連カリキュラムでは、共通到達目標モデルにかかげられていない事項についても、重要と思われる事項は授業内容に取り入れている。

自学自習の便宜のために、各回の授業が共通到達目標モデルにあげられた項目のどこにあたるのかはLETの各回テーマのところで指示しておくので参照すること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Course

※事務室で予め記載を行っている場合は、その次段からご記入ください。

※Fill in the next section if you have already entered information at the administrative office of your College.

民法I、民法II、民法III、民法IV、民法V（各回のテーマと関連する各科目の範囲を復習しておくこと）

授業スケジュール / Course Schedule

※変更する場合は、履修している学生に対して、事前に説明を行ってください。

If any changes are to be made, your students should be notified in advance.

授業回数 Lecture	テーマ / Theme キーワード・文献・補足事項等/Keyword, References and Supplementary Information
1	意思能力・行為能力
	意思能力、行為能力、制限行為能力、成年後見
2	錯誤
	錯誤、動機の錯誤、保証、空クレジット
3	民法109条と110条の重畳適用
	無権代理、権限ゆ越の表見代理、代理権表示の表見代理、白紙委任状
4	代理権の濫用
	親権、利益相反行為、代理権濫用、93条類推適用
5	民法94条2項の類推適用
	通謀虚偽表示、表見法理、外観法理、民法94条2項の類推適用
6	民法177条の背信的悪意者
	177条の第三者、制限説、背信的悪意者、背信的悪意者からの転得者
7	取得時効と登記
	占有、取得時効、対抗問題、賃借権の取得時効
8	中間到達度検証と講評
9	盗品の即時取得
	即時取得、盗品の回復請求権、代価弁償
10	抵当権（1）法定地上権

	共同担保、担保目的物の滅失、法定地上権、全体価値把握説
11	抵当権（2）妨害排除
	詐害的賃貸借、非占有担保、債権者代位の転用、妨害排除請求権
12	抵当権（3）物上代位
	抵当権の目的、物上代位、304条の差押えの性質
13	集合動産譲渡担保
	流動集合動産譲渡担保
14	組合・団体
	組合、法人、権利能力なき社団
15	離婚
	裁判離婚、有責配偶者の離婚請求、財産分与、財産分与の詐害行為性

授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

*原則として、変更できません。

*In principle, the information entered cannot be changed once submitted.

種別 Kind	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
定期試験（筆記） *授業中に実施するテストは含まない End of Semester Examination (Written) *Does not include tests held during class.	60 %	<ul style="list-style-type: none"> 授業範囲の法律問題について、関連する法制度の趣旨、法概念、重要判例、主要な学説等につき、基本的な理解できている。 論理的かつ説得力に富む答案を作成できている。
レポート試験 （統一締切日を締切とするレポート） *授業中に実施するレポートは含まない Report Examination （A report to be submitted by the standard deadline） *Does not include reports held during class.	0 %	
上記以外の試験・レポート、平常点評価 （日常的な授業における取組状況の評価） Exams and/or Reports other than those stated above, and Continuous Assessment	40 %	<ul style="list-style-type: none"> 双方向授業における質疑や小テスト等で適切な発言・解答をなしうること（全体の10%） レポート課題につき、問題・課題を正確に把握し、適切な解答、論旨の展開がなされている（全体の10%） 中間到達度確認検証において、基本的な問題に解答できていること（全体の20%）

(Evaluation of Everyday Performance in Class)

備考 / Note

授業に欠席すると平常点でマイナス考慮がされる（1回マイナス1点）。なお他の科目と同様、6回以上欠席すると単位が与えられない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- 1 LET画面に詳細な課題が提示されるので、毎回事前に確認し、十分な予習をし、その成果をノートに整理しておくこと。
- 2 なお各回の予習課題と各回で指示される★印資料は事前（原則各回の1週間前）にプリント配布する。
- 3 民法の基本書の該当部分を適宜参照し、関連する法的概念や重要判例についてもノートに整理しておくこと。
- 4 当該回の学習ポイントを事後にLETのお知らせ欄に掲載するので、復習用に活用すること。
- 5 予習・復習を通じて、当該テーマについて関連する過去の司法試験択一問題を解いて、正確な知識が身についているかを確認するようにしておくことよい。
- 6 その他、クラスごとに配布される資料やLET画面での補足資料の提示などもあるので、確認すること（第1回授業で各クラス担当者より説明）

教科書 / Textbooks

※「教科書」の書名をクリックすると、立命館蔵書検索システム（RUNNERS）の画面が表示され、該当図書の書誌情報や所蔵が確認できます。検索方法等ご不明な点がございましたら、図書館にお尋ねください。

※If you click the title of a textbook in the syllabus, the ""Runners"" (Ritsumeikan University Library search database) screen will display bibliographic details and stock availability. For further inquiries on issues such as how to search a book, please ask a librarian.

書名 Title	著者 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code	備考 Comment
民法I・総則・物権総論・第4版	内田貴	東京大学出版会		
山本敬三・民法講義・I・総則・第3版	山本敬三	有斐閣		
民法の基礎1・総則・第3版	佐久間毅	有斐閣		
民法の基礎2・物権	佐久間毅	有斐閣		
講義 物権・担保物権法・第2版	安永正昭	有斐閣		
物権法	生熊長幸	三省堂		
担保物権法	生熊長幸	三省堂		
物権法	松岡久和	成文堂		
担保物権法	松岡久和	日本評論社		

備考 / Note

これら教科書を直接にテキストに使うわけではない。あくまでも、予習・復習の際に参照すべき基本書の例示である。

参考書 / Reference Books

※「参考書」の書名をクリックすると、立命館蔵書検索システム（RUNNERS）の画面が表示され、該当図書の書誌情報や所蔵が確認できます。検索方法等ご不明な点がございましたら、図書館にお尋ねください。

※If you click the title of a reference book in the syllabus, the "Runners" (Ritsumeikan University Library search database) screen will display bibliographic details and stock availability. For further inquiries on issues such as how to search a book, please ask a librarian.

書名 Title	著者 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code	備考 Comment
民法判例百選I・総則・物権(第7版)	潮見佳男・道垣内弘人編	有斐閣		別冊ジュリスト223号
民法判例百選II・債権(第7版)	中田裕康・窪田充見編	有斐閣		別冊ジュリスト224号
民法判例百選III・親族・相続	水野紀子・大村敦志編	有斐閣		別冊ジュリスト225号

備考 / Note

各回のテーマに関する参考判例、参考文献はLET画面上で適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

1 法科大学院協会・調査研究班「共通到達目標モデル（第2次修正案）：民法」
<http://www.lawschool-jp.info/info/20101018/5.pdf>

2 法制審議会・民法（債権関係）部会

法制審議会で民法（債権法）改正が議論されている。その内容は、法務省の下記ホームページに掲載されている。各回

テーマに関連する理論上、実務上の問題点を知るうえで、適宜、参照すると良い。

http://www.moj.go.jp/shingi1/shingikai_saiken.html

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法（教員との連絡方法含む） / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

備考 / Other Comments

入稿確定の場合は「入稿確定」ボタンを、内容を修正する場合は「編集画面へ戻る」を押してください。

To confirm the content, click "Submit". To modify the content, click "Return to edit page".

入稿確定 / Submit

編集画面へ戻る / Return to edit page